

科 目 名	プレゼミナールⅣ	備 考
単 位 数	2 単位	

井 上 智 史

情報を伝えるグラフィック：インフォグラフィックスの作成

1. 授業内容

グラフィックデザインとは、情報を見やすくまとめ、わかりやすく伝えるための考え方と技術である。考え方と技術である以上、正しく学ぶことができれば、センスや才能に関係なく、確実に身につけられる力である。

この授業では、その学び方の一端を体験・体得する題材として、インフォグラフィックスを取り上げる。例えば、電車の路線図は地理的な位置よりも、駅と路線の関係に着目することで、行先や乗り換えを分かりやすく表現する。例えば、「ダイアグラム」と呼ばれる表現は、物の関係や、出来事の因果、物語などを、ヴィジュアルを駆使して表現する。いずれもポイントは、必要な情報や関係を「正確に」「際だたせる」ことである。

課題としては、説明、手順、データ、物語など、各自で題材とテーマを決め、ヴィジュアルとして表現することを予定している。グラフィックデザインの考え方を身につけるとともに、情報をデザインすることの意味を体験・体得してほしい。

2. 到達目標

情報を収集、取捨選択し、他者にとって魅力的でわかりやすい表現として伝える能力の獲得を目標とする。

3. 関連科目

グラフィックデザイン実習、グラフィックデザイン演習、グラフィックデザイン論

4. テキスト・参考書等

【参】『インフォグラフィックスの潮流：情報と図解の近代史』（永原康史 誠文堂新光社 2016）

【参】『ISOTYPE[アイソタイプ]』

（オットー・ノイラート 永原康史監訳 牧尾晴喜訳 ビー・エヌ・エヌ新社 2017）

【参】『ビジュアル・ストーリーテリング：インフォグラフィックが切り拓くビジネスコミュニケーションの未来』

（Jason Lankow, Josh Ritchie, Ross Crooks 浅野紀予訳 ビー・エヌ・エヌ新社 2013）

【参】『デザイン仕事に必ず役立つ図解力アップドリル』（原田泰 ワークスコーポレーション 2010）

【参】『[動く]図解力アップドリル』（原田泰 ワークスコーポレーション 2013）

その他、授業内で、適宜、参考書籍・資料を紹介する。

5. 授業外における学習方法

身の回りにあるヴィジュアルで表現された情報について、同種類の表現を収集・整理する、自分なりの表現を考えるなど、制作者として役に立つという観点から分析する。

6. 成績評価方法

課題制作物および発表内容（70%）と、授業への参加意欲・取り組み（30%）で評価する。

授 業 計 画			
第1回	ガイダンス、情報をデザインすること	第9回	トレーニング2 Adobe Illustrator：アイコン
第2回	エクササイズ1 道順を言葉で伝える	第10回	トレーニング3 Adobe Illustrator：文字
第3回	エクササイズ2 道順を地図で伝える	第11回	トレーニング4 Adobe Illustrator：関連図
第4回	エクササイズ3 道順を言葉も地図も(なるべく)使わずに伝える(ことにチャレンジしてみる)	第12回	課題制作4 構成要素を作る
第5回	課題制作1 テーマの検討・決定	第13回	課題制作5 構成要素の関連を考える
第6回	課題制作2 テーマに沿った構成を考える	第14回	課題制作6 文章、レイアウトの検討
第7回	課題制作3 ラフ案の作成	第15回	発表、講評
第8回	トレーニング1 Adobe Illustrator：図形		